

あの手この手

2016
5月号

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

第106号 2016年5月10日発行 大和市民活動センター[拠点やまと]発行



【市民活動にこの人あり】第2回
毎週水曜日のサロン開催日には自宅前
に「茶OH!」の旗を掲げる石原啓子さん。



「笑顔がこぼれる青葉祭」伊藤静夏さん(聖セシリア小6年)

2016年度の表紙は、笹倉鉄平版画ミュージアムが主催する第7回やまと子ども絵画大賞で入賞した作品を掲載します。テーマは「好きな！楽しみな！学校での、地域での行事」。今号は、優秀賞を受賞した伊藤静夏さんの作品です。

伊藤静夏さんのメッセージ

私の学校には「青葉祭」という幼稚園から短大生までが参加する行事があります。その行事には、毎年たくさんのお客様がおみえになります。そこで、楽しむ私も、ふくめた在校生の笑顔をかき、この絵を見た方までもが笑顔になれる、そんな絵をイメージしてかきました。

※今年の聖セシリアの「青葉祭」は、5月29日(日)に開催されます。

自分サイズのマイ箸と箸袋を作ろう！ 6月19日(日)開催／第71回共育セミナー

前回の共育セミナー「まちづくりワークショップ／第3回」で提案のあった箸と箸袋を作る講座を、当センター主催で開催する運びとなりました。折しも6月は食育月間で毎月19日は食育の日。そこで、6月19日の日曜日に開催します。最近お箸を正しく使えない人が多いのは、自分にあったお箸ではないのが一因とか。子どもが使うお箸や箸袋を保護者が作れば、家庭内コミュニケーションや食育にも有意義で、マイ箸として持ち歩けば、無駄な割り箸の削減にもつながります。お子さんのお箸を作るもよし、持ち運び用のマイ箸を作るもよし、この機会に、お箸を通じて暮らしをちょっと見直してみませんか？

日時：6月19日(日) 13:30～16:30

※お箸作りの後、それにあった箸袋を作ります。

会場：大和市民活動センター

講師：お箸作り＝茂木義明さん他計4名

(ハウスメンテ大和)

箸袋作り＝長野富喜子さん(環境カウンセラー・

環境まちづくり市民の会サステナブルあさひ代表)

会費：1人 900円(材料費などすべて込み)

備考：お箸は大和ふれあいの森で枝打ちした桜の木を使用。

箸袋は着物の布を当方で準備します。使い慣れた裁縫道具がある方ばお持ちください(ない方は手ぶらでOK)。

申込：大和市民活動センター(TEL 046-260-2586)まで。

補助金事業と協働事業の報告会を開催。



4月26日(火)午前に、平成27年度に実施された市民活動推進補助金事業の報告会が、午後には協働事業の報告会が、大和市勤労福祉会館で開催されました。

補助金事業は、タッチ・プログラムを通じて親と子、人と人とのきずなを紡ぐ「親育てネットワーク事業」(親と子のタッチ研究会)と、外国にルーツを持つ子どもたちの夏休み学習教室「学べ〜」を活用した若い世代につなぐ人材育成事業(やまと国際フレンドクラブ=IFC)の2事業です。

5名の市民活動アドバイザーからコメントをいただき、両事業とも、そのきめ細かい活動が高く評価されました。また、出席者全員で最後に車座となり、意見交換会も行われました。

そのなかで「いい事業なのに、なぜ協働事業にならないの?」といった声が出たほか、補助金に頼らない資金の集め方や行政への効果的な働きかけ方のアイデアも出され、話は盛り上がりました。

協働事業の報告会は、下表の通り18事業の報告がありました。一団体あたり発表は8分と駆け足でしたが、「継続は力なり」今年の新規提案はなかったものの、これだけの事業が続いているのは意義深いことだと感じました。



▲車座の意見交換会は、今年初めての試み。

●平成27年度協働事業一覧

事業名	協働事業者／市の事業担当課	
26 大和市・AJAPEプレスクール開催事業	NPO法人日本ペルー共生協会／指導室、国際・男女共同参画課	C
26 大和市民活動センター管理運営事業	拠点やまと／市民活動課	G
26 文化創造担い手育成事業	ドラマティックカンパニーyamato50／文化振興課	G
25 チャレンジ離乳食教室〜これからママ・パパになるあなたへ〜 &ステップアップ離乳食教室	栄養サポートやまと／すくすく子育て課	C
25 認知症サポーターの実践講座	社会福祉士の会やまと／高齢福祉課	C
25 障がい者と地域住民とのふれあい体験活動を通じた 共助・共生社会の実現を目指す事業	NPO法人大和市腎友会／指導室、健康福祉総務課	C
25 入院患者さんの「癒しの場」提供事業	LickLuck／病院総務課	G
24 通学、通所、外出支援の地域ネットワーク形成	ふくしのあしフットワーク／障がい福祉課、すくすく子育て課、指導室	C
24 緑野青空子ども広場ツリーガーデン管理運営事業	中央林間ツリーガーデン運営委員会／こども・青少年課	C
24 ドッグラン管理運営事業	結の会／みどり公園課	C
24 はぐくねっと	NPO法人地域家族しんちゃんハウス／こども総務課	C
24 地域で支え合う「のりあい」を走らせよう	地域と市との協働「のりあい」／街づくり総務課	C
24 生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ「つま読み書きの部屋」	NPO法人かながわ難民定住援助協会／国際・男女共同参画課	C
24 地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業	渋谷きんりん未来の会／生涯学習センター	C
24 移動制約者の外出介助サービス事業	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ・ケアびーくる／障がい福祉課	C
24 障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業	NPO法人大和市腎友会／障がい福祉課	C
24 大和市移動制約者の外出介助サービス事業	NPO法人たんぽぽ／障がい福祉課	C
24 みんなでつくろう安心のまち事業	大和女性防犯会、NPO法人日本ガーデアン・エンジェルズ大和支部	G
26 = 平成26年度提案事業(27〜29年度実施事業)	／生活あんしん課	

26 = 平成26年度提案事業(27〜29年度実施事業)

25 = 平成25年度提案事業(26〜28年度実施事業)

24 = 平成24年度提案事業(25〜27年度実施事業)

市民提案型協働事業 = C

行政提案型協働事業 = G

お気軽に！ 定例相談日

◆市民活動相談 = 5月9・23日(月)・6月13日(月) ※毎月第2・4月曜の10〜17時
◆ボランティア相談 = 5月14・28日(土)・6月11日(土) ※毎月第2・4土曜の10〜17時
◆パソコン相談 = 5月10・24日(火)・6月14日(火) ※毎月第2・4火曜の14〜17時
※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

毎週水曜に自宅で「茶OH!」を開催

大和市福田在住 **石原啓子さん**

石原さんの自宅にうかがったこの日、一人また一人と庭先から上がってきたのは8人ほど。毎週水曜日は13時から世間話をするだけの「茶OH!(ちゃお)」が開かれている。誰かが仕切るわけでもなくテーマも設けず友人同士のお茶会と変わりはない。唯一の違いは、誰でもどんな人でも予約なしで参加できること。市のホームページでも「ご近所のお茶飲み会」として参加者を募集している。市とワーカーズコレクティブ想などの協働事業により生まれたからだ。ここには長年介護の仕事に携わってきた石原さんの想いが凝縮されている。

福井県生まれで団塊の世代の石原さん。1975年に現在の大和市福田に家を建て、家族6人で千葉から引っ越してきた。ヘルパーになったのは43歳のとき。できて1年後のワーカーズコレクティブ想に入った。最初の出会いがよかったのか、こんなおもしろい仕事はないと感じた。次第にその人がいいおもしろいと思うようになるそだ。こうして仕事にのめり込み、理事を任せられ、遂には理事長に推され2期4年務めた。

当初は受け入れられなかった大和市との協働事業も、市から提案を受け、福祉の担い手を発掘・育成する「ふくしの手 全員集合」として2006年に実現。ボランティア養成講座などを開いた。しかしなかなか人材が育たない。そんなときNHKの「クローズアップ現代」で「隣人祭り」のことを知った。お年寄りの孤独死をきっかけにバリの片隅で1人の青年が始めたパーティだ。近隣に住む人が食事をしながら語り合うだけの小さな集まりだが、「つながり」を取り戻し地域の問題を解決する大きな一歩となることから全世界に広がった。

この日は、近所のマンションに住む娘さんのほか、海外旅行で知り合った東京・千葉の人も遊びに来て、和気あいあいでした。

石原さんは「これだ!」と思った。「茶OH!」はこうして生まれた。実は「住み開き」という言い方もある。プライベート空間の一部を住んだまま一時的にパブリックに開放する活動や拠点のこと。「茶OH!」は典型的な「住み開き」でもある。

協働事業は3期9年で終了したが、「茶OH!」はその後も継続。毎週開催し今回でなんと304回目。病気で休んだことはない。唯一休んだのは海外旅行のとき。この日はその旅行で親しくなった人が東京と千葉から遊びに来ており、休んでも無駄にはしていない。「居場所を提供しながらむしろ自分の居場所が見つかった気持も大きい」と石原さん。「想」は引退したが「想」の地域貢献として始めた健康体操は、いまでも石原さんを中心に事務所4階で毎週続け、こちらは500回を越えた。

「茶OH!」の本当のねらいは、ご近所づきあいを活発にし、気軽に助け合いができるように同じようなお茶会をあちこちに広げること。そのため開催日の目印として使える旗もつくった。開催してみたい人は、まずは「茶OH!」に参加してみるといい。きっと石原さんの想いに触発されるに違いない。



イベント・募集情報

第法九条やまとの会10周年企画 市民大勉強会～憲法をめぐる情勢～

「今、憲法があぶない! 戦争しないことこそが国民の命を守る」とスローガンのもと、九条の会全国事務局長で、東京大学大学院教授の小森陽一さんを講師に市民大勉強会を開催します。当日は和太鼓「タイコング」による演奏も楽しめます。

日時: 6月5日(日) 13:30~16:30 (開場13:00)
会場: 大和市福祉保健センター ホール
会費: 前売800円、当日1000円、学生・障がいの方500円
主催: 憲法九条やまとの会 TEL 046-272-8880

回想法リーダー養成講座 高齢者が生き生きとなる心のリハビリ

回想法は高齢者が懐かしい昔を思い出し語り合うことで脳を活性化させ、生き生きとした生活を取り戻す心のリハビリとも言われる心理療法。認知症、介護予防、コミュニティ形成などに有効で、福祉介護職、地域サロン運営者などにお勧め。

日時: 6月8・22日・7月6・20日 (すべて水曜日/4回)
毎回9:30~12:30
会場: かながわ県民センター11階
かながわコミュニティカレッジ講義室
会費: 12000円
主催・申込: 回想法プランニング (担当:阿部)
FAX 046-258-2188 MAIL info@kaisoho.org

『RUN伴+やまと』開催 引地台公園に応援に来てください!

認知症の人に何か支援をするのではなく一緒に何かが目標を達成したいーそうした想いからRUN伴+は生まれました。伴走の「伴(とも)」と「友」、明日のTOMO-RRROWをかけています。たすきをつないで走るイベントの第1回は、函館ー札幌間300キロをつなぎ2011年に行われ、以後年々距離も参加者も増え、今後は日本縦断を目指しています。今回はその大和ローカル版。引地台公園を目指し約200名が走ります。

日時: 5月21日(土) 9:00スタート 15:00ゴール予定
会場: 引地台公園=ゴール (市内5カ所からスタート)
主催: RUN伴+やまと実行委員会 ※雨天翌日順延
問合せ: ゆらり大和 TEL 046-200-3351 (施設長 野間康彰)

「センター」のある日ある時

4月20日(水)／晴れ

4月11日、シネマサークルから「ロッカーに保管していた映画のビデオテープを処分したいが欲しい人はいないか」との相談。その数78本。センターのちらしラック下に2週間並べ希望者に差し上げることに。しかし1週間を過ぎてもほとんど減らず、もう無理かなと思っていた矢先、会議室の利用者で全部欲しいという人が現れ、4月20日に引き取ってくれました。なんでもビデオ再生機に限らず、レーザーディスクなどの古い機械も全部持っているとか。広い世間にはそんな愛好者(?)もいるものです。こうしたマッチングも、当センターならではの。

※PCがもらえるイーパーツ寄贈プログラム、5/10~7/10で募集中! 詳細は当センターまで。次号でも紹介予定です。

